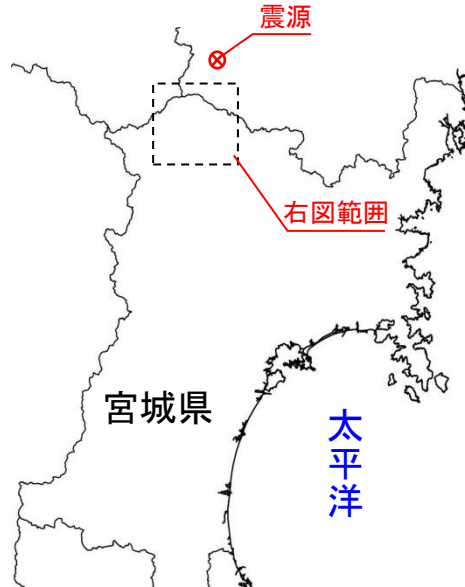


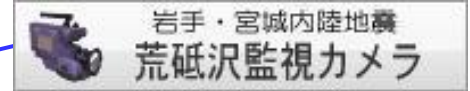
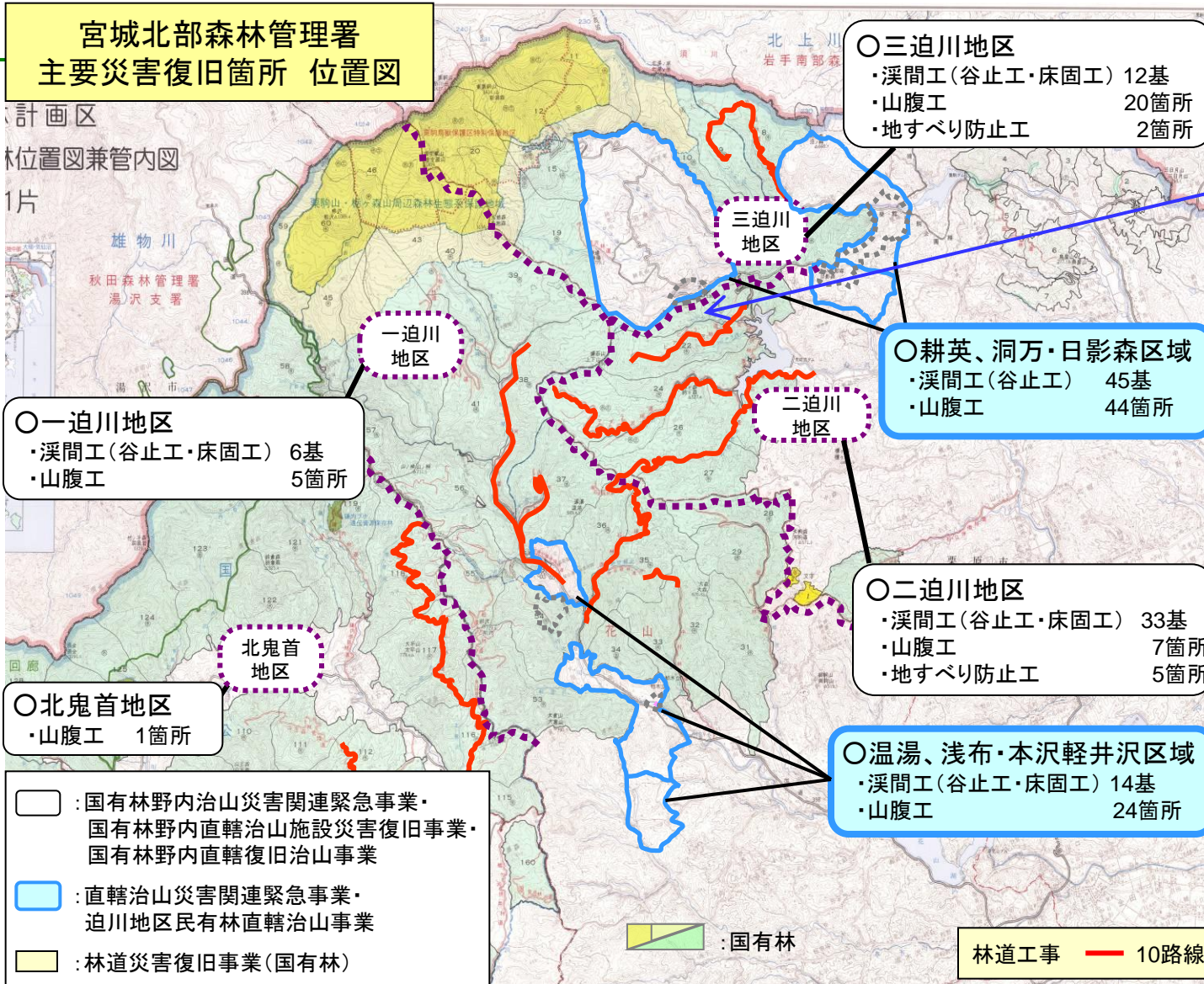
■ 概要

○被災箇所に係る復旧整備状況

- ・平成27年度末まで
 - 国有林治山事業：溪間工51基、山腹工33箇所、地すべり防止工7箇所
 - 民有林直轄治山事業：溪間工59基、山腹工68箇所
 - 林道災害復旧事業：10路線
- ・平成28年度計画
 - 国有林治山事業：溪間工12基、山腹工1箇所
 - 民有林直轄治山事業：溪間工 6基、山腹工4箇所



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
 2008年6月14日 午前8時43分頃発生
 地震の規模 M7.2
 最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
 震源地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>



平成28年4月30日撮影

被災地の復旧状況 (山腹工・溪間工の事例)

平成27年度 耕英岩魚沢(H27)治山工事

本施工地は、栗原市栗駒沼倉耕英地内の三迫川支流の岩魚沢の右岸に位置する施工地で、崩壊地直上部には、市道及び人家が存在し、下流には県道や栗駒ダムなどの重要な保全対象が存在しています。地震により山腹が崩壊し、押し出した土砂が沢に堆積していたため、簡易吹付法砕工等により法面を安定させ崩壊の拡大を防止するとともに、直下に谷止工を設置して堆積土砂の流出を防止しました。



平成28年4月撮影

平成28年4月撮影

平成28年度 工事施行箇所

- ① 耕英御沢 (H27) [溪間工(コンクリート床固工ほか)]
コンクリート谷止工などを設置します。



- ③ 洞万岩ノ目 (H28) [山腹工(植生基材吹付工ほか)]
植生基材吹付工などを設置します。



- ⑤ 浅布 (H28) [山腹工(簡易吹付法砕工ほか)]
簡易吹付法砕工などを設置します。



復旧工事を進めます

- ② 耕英柳沢 (H28) [溪間工(コンクリート床固工ほか)]
コンクリート床固工などを設置します。



- ④ 湯ノ倉上流 [溪間工(鋼製枠谷止工)]
鋼製枠谷止工を設置します。



- ⑥ 湯ノ倉上流地区 [溪間工(コンクリートブロック床固工ほか)]
コンクリートブロック床固工などを設置します。



- ⑦ ヒアヒクラ沢 [溪間工(コンクリート谷止工)]
コンクリート谷止工を設置します。

